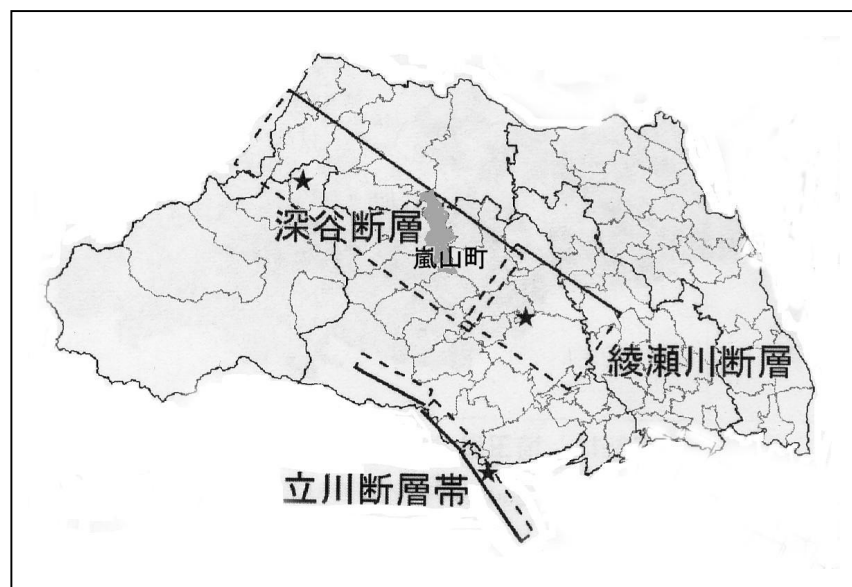


== 東日本大震災後、もう一度、嵐山町の地震被害予測・防災体制を見直し、町のありかたを考えます。 ==

嵐山町は地図のとおり深谷活断層のなかにすっぽりはっています。H19年度埼玉県地震被害想定調査では深谷活断層による地震は、嵐山町中部・北部に震度6.7、全域は震度6の予測です。



深谷活断層での地震 M7.5 の場合、嵐山町では風が普通の時、夏 12 時で死者 15 人・重傷者 20 人・軽症者 136 人、冬 5 時で死者 31 人、重傷者は 30 人、軽症者は 352 人と予測されています。自力脱出困難者は夏 12 時で 57 人、冬 5 時で 111 人、冬 18 時で 81 人と予測。避難者は、夏 12 時普通の風 1 日目 3775 人、10 日後 3287 人、1 ヶ月後 1547 人。冬 18 時強風時火災被害を想定し 1 日目 4516 人、10 日後 4066 人、1 ヶ月後 2459 人。木造家屋の全壊率は 5.5%、半壊率は 16% と予測されています。(平成 19 年度埼玉県地震被害想定調査報告書より)

菅谷中学校と七郷小学校の体育館は、耐震審査の結果、体育館を新築します。学校の耐震化は子どもたちの安全には不可欠です。避難場所にもなっています。23 年度予算で、菅谷小と志賀小の体育館の耐震診断をし、必要な場合耐震改修します。



水道管は 16% ほど耐震化されています。地震発生時、平沢の第 2 配水場と吉田の第 3 配水場は、緊急遮断弁で断水します。

漏水がない場合、配水が再開します。深谷活断層の地震による 1 日後の断水率は 60% と予測。

下水道は、地震で地盤が液状化した場合、マンホールが浮き上がってしまいます。

マンホールが浮き上がると下水管が外れるので下水道が機能しません。下水道の被害率は 36% と予測。

道路でマンホールが浮き上がると交通のじゃまになります。

新しく建築された下水道にはマンホール浮上防止策が行われています。

下水道が使えない場合、ビニール袋をトイレにかぶせ、猫のトイレ用の砂をかけ代用できます。

電気は、電柱が倒れた場合復興が遅くなります。電柱の被害率は 1.1~1.3%、太陽光や手回しの LED ランタンの用意を。

ガスは、家庭と学校の調理室はプロパンガスです。学校給食センターはオール電化なので電気がないと難しいですね。



(平成 19 年度埼玉県地震被害想定調査報告書図 2 - 2) に嵐山町加筆

== 23 年度の新規事業から ==

市町村設置型合併浄化槽で排水処理。今まで合併浄化槽は、補助金が交付されれば 60% の個人負担でした (90 万円だと 54 万円)。市町村設置型の合併浄化槽は個人負担 10% で町が合併浄化槽を設置し (90 万円の合併浄化槽だと個人負担は 9 万円) 合併浄化槽の使用料を家庭で毎月支払い、町が管理。準備段階です。

デマンド交通



ドアからドアへのデマンド交通が、75 才以上の方を対象に 7 月から試行的に行われます。超高齢化社会での移動の権利を保障する方法のひとつです。南北に長い嵐山町で病院・買物へ自由に行ける仕組みを。

ファミリーサポート事業



子育て家庭 (0 才から小 6 まで) のサポートです。会員とサポート会員の打ち合わせした内容で決めます。病児保育では、サポーターに 1 時間 1000 円支払いますが、町が 700 円補助するので利用する人は 300 円の負担です。

地震学者は、日本は地震の活動期に入ったと認識しています。歴史的に、人間は地震災害・津波災害からは、立ち直ってきました。原発災害は一瞬に空気・水・土壌を放射能汚染し生活を崩壊します。原発の安全神話は崩れました。エネルギー政策の変更が必要です。

福島原発は、スローなチェルノブイリといわれています。福島原発の収束のための状況報告と確かな放射能汚染の情報を公開し、子どもへの被害を最小限にすべきです。東海地震の予測より、最初に静岡県浜岡原発 (活断層の真上に建設) の廃止と安全な廃炉が必要です。

- 1945 年 広島・長崎に原子爆弾投下
- 1954 年 ビキニ環礁で行われた水爆実験に第 5 福流丸が遭遇
- 1957 年 ウラル核惨事 (原子力発電所の爆発)
- セラフィールド (イギリス) 原子力発電所・火災
- 1973 年 セラフィールド再処理工場事故
- 1979 年 スリースマイル島 原発事故
- 1986 年 チェルノブイリ原発事故
- 1997 年 東海再処理工場アスファルト固化施設火災
- 1999 年 東海村 JCO 核燃料加工施設臨海事故
- 2004 年 美浜原発 3 号機事故
- 2007 年 柏崎刈羽原発、中越沖地震で停止
- 2011 年 東日本地震で、福島原発の事故



## 日本の原子力発電所

※ 2010 年 3 月 現在

いま、日本には 54 基の原子力発電所があります。そこから出る使用済核燃料は、すべて六ヶ所村に運ばれています。



●印...原子力発電所 ○印...関連施設 オレンジ色...計画・工事中

オジロワシの森 はらだゆうこ作 (子ども達に再処理工場を語り伝える会) より